

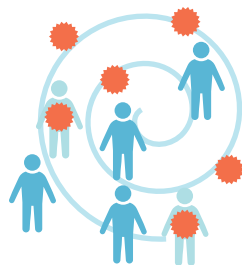
子どものかぜ対策から 薬剤耐性を予防しよう

子どもがかぜをよくひく主な3つの理由

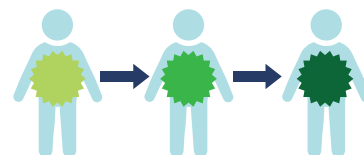
① 大人に比べ抵抗力が
十分ではない



② 集団生活を送ることが
多い



③ かぜの予防の徹底が
難しい



成長とともに抵抗力を獲得

小さな子どもがかぜをよくひくのは感染症に対する抵抗力が弱いからです。

成長とともに成人並みの抵抗力を得ていきます。

「こんなときは
急いで受診を！」



食欲がなく
水分も摂らない



ぐったりしている

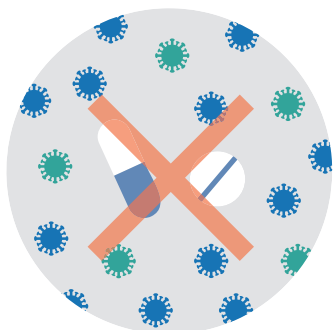


呼吸が苦しそう



生後90日未満の発熱

抗菌薬は使い方が大事



抗菌薬はウイルスによるかぜやインフルエンザには効かない



下痢・嘔吐・発疹などの副作用をおこすこともある



抗菌薬の不適切な使用は薬剤耐性菌の増加につながります

抗菌薬（抗生物質、抗生剤とも呼ばれる）は細菌感染症を治療するための薬です。しかし、抗菌薬を不適切に使用していると、抗菌薬が効きにくい、効かなくなった細菌が出現することがあり、これを薬剤耐性菌といいます。薬剤耐性菌による感染症は治療が難しくなるので、増やさないための対策が必要です。

正しい服用で薬剤耐性の予防を



1 抗菌薬は医師の処方せんが必要です



2 抗菌薬は医師の指示どおりのみきる



3 抗菌薬をとっておいてあとでのまない



4 抗菌薬をあげない、もらわない



5 わからないことは医師や薬剤師に聞こう



6 「手洗い」「咳エチケット」「ワクチン」で感染症を予防しよう

